

大分県社会福祉介護研修センターの指定管理候補者の選定結果について

平成 22 年 10 月 25 日
大分県福祉保健部地域福祉推進室

1 経緯

大分県社会福祉介護研修センターの指定管理候補者の選定にあたり、大分県社会福祉介護研修センター指定管理候補者選定委員会（以下、選定委員会）は、応募事業者から提出された書類の審査を行ってまいりましたが、このたび、審査・選定が終了いたしましたので、ここに結果をお知らせします。

2 大分県社会福祉介護研修センター指定管理候補者選定委員会 委員等

委員長 山岸 治男（大分大学教育福祉科学部教授）
委員 中村 欣三（国立重度障害者センター所長）
委員 秦野 晃郎（公認会計士）
委員 岡 正美（大分県福祉保健部審議監）
委員 石川 伊知郎（大分県福祉保健部福祉保健企画課長）
委員 河野 成典（大分県福祉保健部地域福祉推進室長）

3 指定管理候補者選定の経過

項 目	年月日
●第 1 回大分県社会福祉介護研修センター指定管理候補者選定委員会 （施設の概要説明、審査基準・スケジュール・募集要項等の検討）	平成 22 年 7 月 9 日（金）
公募開始 （公告）	平成 22 年 7 月 21 日（水）
公募に関する現地説明会の実施	平成 22 年 8 月 10 日（火）
公募に関する質問受付	平成 22 年 8 月 11 日（水）
公募に関する質問回答	平成 22 年 8 月 20 日（金）
申請書の受付 （申請：（社福）大分県社会福祉協議会）	平成 22 年 9 月 17 日（金）
応募資格等確認	平成 22 年 9 月 27 日（月）
ヒアリング実施通知	平成 22 年 10 月 7 日（木）
●第 2 回大分県社会福祉介護研修センター指定管理候補者選定委員会 （申請団体のヒアリング、審査、協議・選定）	平成 22 年 10 月 18 日（月）

※●は選定委員会

4 審査の方法、審査基準及び配点について

7月9日に開催した第1回大分県社会福祉介護研修センター指定管理候補者選定委員会において、審査基準及び配点を定めました。この内容は、募集要項に記載しています。

審査基準	審査基準における評価項目	配点
1 事業計画書の内容が、県民の平等な利用が確保されるとともに、サービスの向上が図られるものであること	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの管理運営の基本方針 ・平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果 ・サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果 	20点 ×6人 =120点
2 事業計画書の内容が、公の施設の効用を最大限に発揮するものであること	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者増を図るための具体的手法及び期待される効果 ・センターの維持管理の内容、的確性及び実現の可能性 ・危機管理体制、安全管理の適切性 	20点 ×6人 =120点
3 事業計画書の内容が、公の施設に管理に係る経費の縮減が図られるものであること	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの管理運営に係る経費の内容 	20点 ×6人 =120点
4 事業計画書に沿った管理を安定して行う能力を有しているものであること	<ul style="list-style-type: none"> ・収支計画の内容の的確性及び実現の可能性 ・安定的な運営が可能となる人的能力 ・安定的な運営が可能となる経理的基盤 ・類似施設の運営実績 	40点 ×6人 =240点
計		100点 ×6人 =600点

5 申請団体一覧

平成22年7月21日から9月21日までの間、公募を行い、以下の団体から申請がありました。

(受付順)

	団体名
1	社会福祉法人 大分県社会福祉協議会
計	1団体

6 選定結果及び選定理由

10月18日に開催した第2回選定委員会において厳正な審査を行った結果、次の団体を指定管理候補者として選定しました。

(1) 選定結果

[団体名]

社会福祉法人 大分県社会福祉協議会
(大分市大津町2丁目1番41号 会長 大津留 源)

[事業概要]

大分県における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図る。

- ・社会福祉を目的とする事業の企画及び実施
- ・社会福祉に関する活動への住民参加のための援助
- ・社会福祉を目的とする事業に従事する者の養成及び研修 他

(2) 選定理由

応募者は1団体(社会福祉法人大分県社会福祉協議会)のみであったが、当該法人は、管理運営体制・施設管理に関するノウハウを持ち、これまで堅実かつ安全に当該施設の管理運営(平成18年4月1日からは指定管理)を行ってきた実績がある。

申請団体の提案は、市町村、市町村社会福祉協議会、社会福祉団体や社会福祉施設等と連携した事業展開や介護技術講師の養成等による専門性の高い外部スタッフを活用した研修の実施が図られる管理運営計画である。

以上の実績や提案内容が施設の設置目的や運営の方向性に合致したものであり、当該法人が事業計画に沿った管理を行う能力を有すると認められ、施設の効用が発揮されるものと認められるため。

7 審査の評価及び得点(各団体の評価項目)

審査基準における評価項目	項目得点
1 事業計画書の内容が、県民の平等な利用が確保されるとともに、サービスの向上が図られるものであること	108.75
(1) センターの管理運営の基本方針	(43.50)
(2) 平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	(10.50)
(3) サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	(54.75)
2 事業計画書の内容が、公の施設の効用を最大限に発揮するものであること	103.50
(1) 利用者増を図るための具体的手法及び期待される効果	(48.50)
(2) センターの維持管理の内容、的確性及び実現の可能性	(33.00)
(3) 危機管理体制、安全管理の適切性	(22.00)
3 事業計画書の内容が、公の施設に管理に係る経費の縮減が図	

られるものであること	60.00
(1) センターの管理運営に係る経費の内容	提案価格 ※サービス改善 提案事業は除く 23～27年度 149,559千円 (60.00)
4 事業計画書に沿った管理を安定して行う能力を有しているものであること	211.25
(1) 収支計画の内容の的確性及び実現の可能性	(52.50)
(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	(48.75)
(3) 安定的な運営が可能となる経理的基盤	(20.00)
(4) 類似施設の運営実績	(90.00)
総 得 点	483.50

【サービス改善提案事業】

採択された提案事業	採択額
「地域介護教室」の開催	746千円/年

【総合評価】

<p>○申請団体（県社会福祉協議会）は、市町村社会福祉協議会を会員としていること、各種社会福祉団体、行政関係者の参画により運営されていること等から県内に幅広いネットワークを構築しており、社会福祉の各分野に精通し、高度な専門性、中立性を有している。また、17年以上の介護技術講師養成により外部講師を数多く確保し、県民ニーズに即応するサービス提供体制が整備されている。</p> <p>○社会福祉事業や介護に関する啓発・普及、人材の確保（無料職業紹介等）、社会福祉事業従事者の養成・研修を一体的に提供できると期待できる。</p> <p>○地域福祉の推進、社会福祉事業従事者の養成・研修、経営指導・助言等を県単位で行う唯一の団体であり、社会福祉の専門知識、資格を有した職員を抱え、十分な管理運営体制も有し、当該施設の管理運営を行う能力を有すると認められる。</p>
--

8 今後の予定

指定管理候補者は、選定委員会の結果を踏まえて県で正式に決定され、県議会の議決を経たうえで、指定管理者として指定されます。

【参 考】

第2回大分県社会福祉介護研修センター指定管理候補者選定委員会議事要旨

○結果 申請者に対するヒアリングを実施し、審査基準に基づき採点を行った。各委員の採点を集計し、意見交換を行い、大分県社会福祉介護研修センターの指定管理候補者として（社福）大分県社会福祉協議会を選定した。

○議題に係る主な質問・意見等

- ・申請者が目標とする利用者数5万人（年）の達成について厳しいと思うがどうか。
- ・H21の利用者も47,000人に満たないが、利用者を増やすためにどのようなことを考えているか。
- ・福祉用具等については、最新情報の提供が必要と思われるがどうか。また、介護ロボットも重要になってくると思うが、最先端の用具として展示できないか。
- ・地域包括支援センターの後方支援のあり方はどのようなことを考えているのか。
- ・専門性が求められるが、今後5年間の正規職員、専門員等の割合はどう考えているのか。
- ・自主事業について、年度でばらつきがあるがなぜか。
- ・サービス改善提案事業の「地域介護教室」の実施内容はどのようなことを考えているのか。
- ・「地域介護教室」では介護技術だけでなくサービス内容の情報を提供したり、福祉用具を持って行ったりすることも必要ではないか。